

## 環境試料（キャベツ及び大根）の採取依頼先の変更について（案）

令和7年度に核種分析用の農産物（キャベツ及び大根）を購入していた柏崎市西山町鎌田の生産者から、令和8年度以降の試料提供辞退の申し出があった。近年は農産物生産者の高齢化により、同一地点で継続的に試料を入手することが困難となっている。そこで、令和8年度以降の柏崎市西山町鎌田に代わる試料採取地点について、試料の入手方法も含めて検討を行った。

## 1 試料の入手方法の検討

県では、監視調査開始以降、キャベツ及び大根を栽培している法人又は個人生産者に対し、生産した農作物の一部を提供してもらえよう依頼してきた（下表の①、②）。この他の試料入手方法として、③キャベツや大根の栽培をしていない法人生産者に対して新たに栽培を依頼する方法や、④非農業系業者に委託して調査に必要な量を栽培する方法、⑤食料品の小売店等で市場流通品を購入する方法が考えられる。それぞれの方法について検討した結果を表1に示す。

表1 試料入手方法の比較検討結果

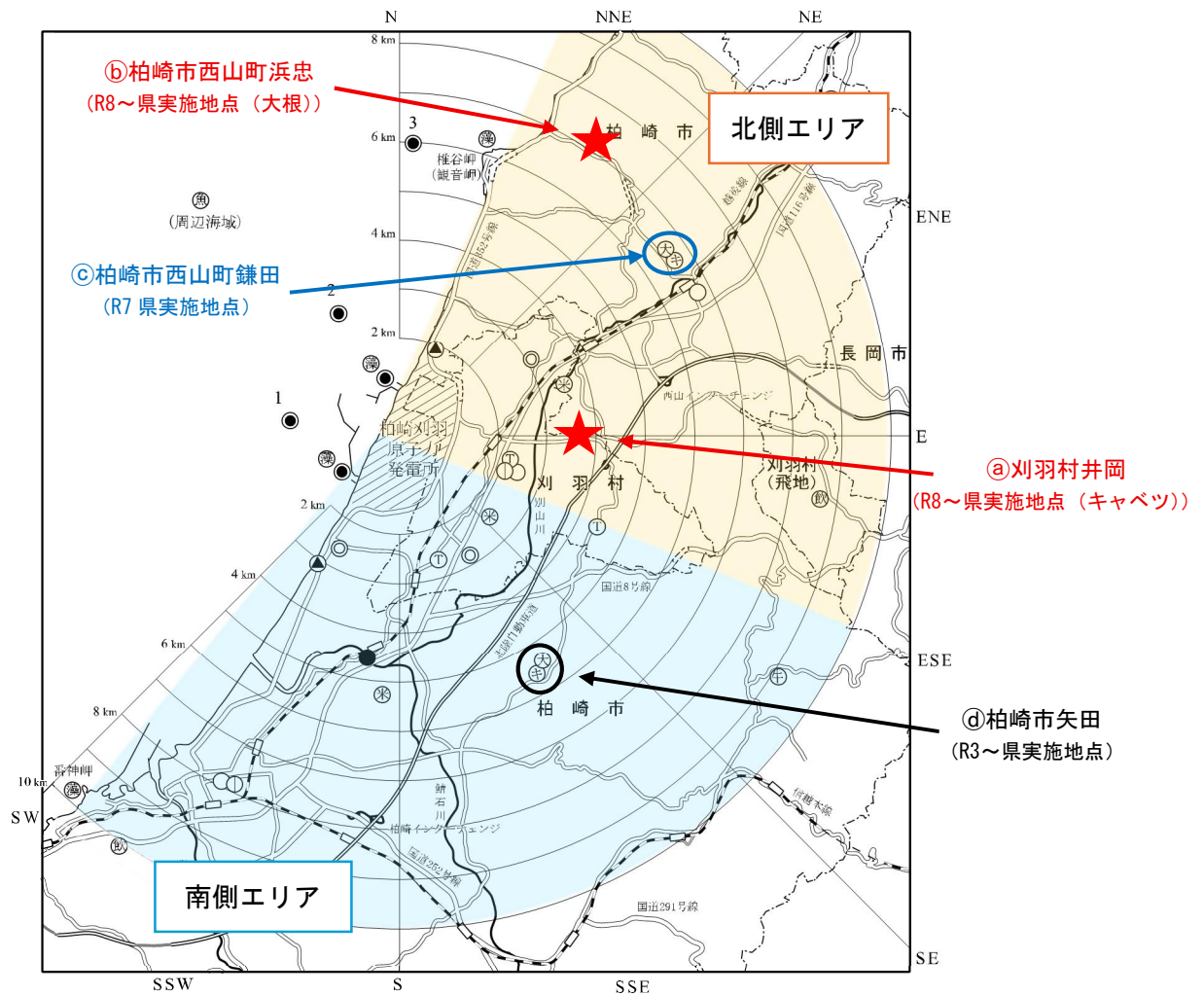
試料の入手方法		利点	課題
①	法人生産者に提供依頼	・栽培地点の把握、詳細な栽培方法の聞き取りが可能	・作付計画の変更により、所定の時期に栽培されない場合がある
②	個人生産者に提供依頼		・高齢を理由に短期間で試料提供を辞退されることが多い
③	法人生産者にキャベツ・大根の新規栽培を依頼		・既存の経営方針や作付計画があること、栽培用機械の整備費用等がかかることから対応可能な法人の確保が困難
④	非農業系業者に栽培委託		・試料購入と比較して費用がかかる ・技術面及び費用面で対応可能な業者の確保が困難 ・市場流通品ではない試料を調査した結果で周辺住民等の被ばく線量評価を行うことになる
⑤	小売店等で購入		・安定した試料の入手が見込める

いずれの方法も課題があるが、①法人生産者に試料提供を依頼する方法は、事前に十分な調整を行うことで依頼どおりの時期に栽培してもらうことが期待できることから、当該方法を採用することとした。

## 2 農産物生産者の調査結果及び地点選定方針

代わりの生産者を探すため、農家の統計情報が掲載されている農林業センサスの調査や、令和7年度の試料提供者への聞き取り調査を行った。得られた情報をもとに柏崎市西山町鎌田からの距離が近い順に生産者を当たったところ、キャベツは刈羽村井岡の法人生産者、大根は柏崎市西山町浜忠の法人生産者から試料提供可能との回答を得た。

柏崎刈羽原子力発電所（以下「発電所」という。）から見て北北東～東南東のエリアを北側エリア、東南東～南西のエリアを南側エリアとすると、柏崎市西山町鎌田、刈羽村井岡及び柏崎市西山町浜忠は北側エリアに、もう一方の農産物採取地点である柏崎市矢田は南側エリアに位置する。県はこれまでの監視調査で、葉菜と根菜とを同一の地点で採取してきた経緯があるが、北側エリア内で両方を栽培する生産者の情報は得られなかった。地理的条件の違いによる影響をみるためには従来どおり発電所からの方角が異なる2地点とすることが望ましいと考え、キャベツと大根の採取地点が別々となるが、柏崎市西山町鎌田の代わりは北側エリア内で選定することとする。



<参考>

表2に、新たな地点と現在調査している地点の畑土壌の核種分析結果を示す。

表2 採取地点土壌の核種分析結果

(単位：Bq/kg 乾)

採取地点	地形	土質	採取年月日	Cs-137 <sup>(注)</sup>	Sr-90	(参考) K-40	
㉑ 刈羽村井岡 (R8～ キャベツ畑)	平坦地	粘土質	R8. 1. 21	7.9 ±0.3	0.71 ±0.06	540±9	
㉒ 柏崎市西山町浜忠 (R8～ 大根畑)	緩傾斜地 (畑は平坦)	壤質+ 粘土質	R8. 1. 19	2.2 ±0.2	0.25 ±0.04	580±9	
㉓ 柏崎市西山町鎌田 (R7 キャベツ・大根畑)	平坦地	壤質+ 粘土質	R7. 1. 14	0.75±0.17	0.087±0.025	440±7	
㉔	柏崎市矢田 (R7 キャベツ畑)	平坦地	粘土質	R7. 11. 11	14 ±0.4	0.70 ±0.06	510±8
	柏崎市矢田 (R7 大根畑)	平坦地	粘土質	R7. 11. 11	12 ±0.4	0.64 ±0.06	490±8

(注) 機器分析の結果、検出された人工放射性核種はCs-137のみであった。